管機連Daily News

2026年11月5日（木）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆26年上半期の日本人出生数、11年ぶりプラス　0.4%増の32万人

・厚生労働省は人口動態統計（概数）を公表。日本に住む日本人の出生数は2026年1～6月の合計で32万458人。前年の同じ期間（31万9079人）を0.4%上回った。同期間で前年を上回るのは11年ぶり。新型コロナウイルス禍に落ち込んだ婚姻数が25年までに持ち直したことが影響している可能性がある。年間の出生数は10年連続で減少が続いている。

◆長期金利3%、個人向け国債の販売好調

・国内債券市場で長期金利の指標となる10年物国債利回りが節目の3%台に乗せる動きを見せ、投資家の資産運用も変化しつつある。金利上昇に伴い九州の金融機関では、顧客が個人向け国債や社債を購入する動きが加速。西日本シティ銀行では2026年4～9月の個人向け国債の販売額が、金利正常化前の23年の同時期と比べて約17倍になった。

◆金の投資需要、7～9月は14%減　相場軟調で先高観薄れる

・国際調査機関のワールド・ゴールド・カウンシル（WGC）が公表した2026年7～9月期の金（ゴールド）需給統計によると、投資需要は前年同期比14%減の479トン。金相場は今年に入り軟調な展開が続いており、先高観が薄れ買い控えにつながった模様。前年同期比では2割高となったが4～6月期（4500ドル台）からは下落した。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆「フラット35」7～9月申請戸数、前年同期比39.4%減

・住宅金融支援機構は「フラット35」の2026年7～9月分の実績を公表。これによると、全体の申請戸数は前年同期比39.4%減の8619戸、実績戸数は同14.2%減の7264戸、実績金額は同11.4%減の2461億円。「買取型」の申請戸数は7395戸（同36.5%減）、実績戸数は6319戸（同11.0%減）、実績金額は2078億円（同9.6%減）だった。

◆ペロブスカイト電池の国内市場、2040年度に982億円へ拡大　富士経済

・富士経済が公表した「ペロブスカイト太陽電池の国内市場」調査結果によると、ペロブスカイト太陽電池の国内市場は2040年度には982億円となり、2025年度比で29倍に拡大する見通し。今後、施工・設置コストを含めたトータルコストの最適化が市場拡大のカギになる。非住宅施設での普及が先行し、自治体主導の先行導入事業が急増。

◆中古住宅の価値は「手入れ」次第　国交省、流通促進へ評価制度を検討

・国土交通省は住宅の「手入れ」の状況が中古市場で適切に評価される仕組みをつくる。定期点検や修繕が適切であれば火災保険やローンの契約などで優遇が受けられるように検討。住宅価格が高騰するなか、手ごろで高品質な中古の流通を後押し。定期点検や補修の実施状況や住宅維持の履歴を残し、適切に評価する仕組みを整える。

≪　注目商品　≫

■アルメタックス、収納力を高めた壁付け棚

・壁付け棚「ウォールシェルフ」に、既存の奥行120ミリに加え、収納性を高めた奥行200ミリを追加。食品ストック・調味料、タオルなど奥行きが必要なものに対応し、多様な空間で壁面を収納スペースとして活用できる。アルミ素材を活かしたシンプルなデザイン。



■TOTO、会員制サービス「TOTOあんしんサポートクラブ」

・会員制サービス「TOTOあんしんサポートクラブ」を提供開始。ご加入後は、メーカー保証期間が3年まで延長されるほか、専門スタッフによるビデオ通話での「オンライン故障診断サービス」も追加費用なしでご利用できる。ご購入後の安心を末永くサポート。



■Deto、便座交換できるタンクレストイレ

・便座だけを交換できるタンクレストイレ。ほとんどのタンクレストイレは便座が破損すると便器本体ごとの取り換えが必要だったが、本製品は便座だけを取り替えられ、コストを抑えることができる。前出寸法645mmの業界最小クラスのコンパクト設計。

